

<施策評価シートの見方について>

1.基本項目

第5次羽村市長期総合計画の記載内容となっています。

2.指標

第5次羽村市長期総合計画の記載内容となっています。

実績については、平成28年度実績を記載しています。（「－」は隔年実施等による未実施）

3.施策を構成する平成28年度事務事業の実施・評価結果

(i)事業名については、第5次羽村市長期総合計画実施計画(H28年度版)に掲載された全事務事業、及びH28総合調整会議(4月)に発表された主要事業のうち市長が指定した進行管理を行った事業名が記載されています。

(ii)H28年度実施結果については、事後評価シートのDo【実行】、6.実施結果の②投入実績の内容が記載されています。また、進捗状況については、次のとおり。

「計画どおり完了」・・・第5次羽村市長期総合計画実施計画(H28年度版)に記載された平成28年度の計画が、計画どおり完了しているもの

「計画を見直し完了」・・・第5次羽村市長期総合計画実施計画(H28年度版)に記載された平成28年度の計画を、一部変更して完了したもの

「遅延」・・・・・・・・第5次羽村市長期総合計画実施計画(H28年度版)に記載された平成28年度の計画が、計画どおり完了していないもの

(iii) 評価(所管課長)については、事後評価シートのCheck【評価】、8.評価の①事業評価(改善等、課題を発見する点)と②事業評価(今後の方向性についての視点)の内容が記載されています。また、評価については、以下の視点で評価しています。

「妥当性(必要性)」・・・市が実施する必要があるか、事業の目的が政策体系に結びついているか、今の社会状況に見合う事業(市民ニーズ)があるか。

【評価の視点】

*民間でも同様な事業をしているため、市が行う必要性を見直す必要があるのではないか。

*ニーズが無く事業自体を見直す必要があるのではないか。

「効率性(手法)」・・・事業費、人件費の削減余地がないか。

【評価の視点】

*毎年、事業費をかけて実施する必要があるのか。

*直営で行うよりも委託化した方が事業費、人件費の削減ができ、効率できではないか。

*各課で同様な事業実施しているならば、まとめて行った方が効率的で、事業費、人件費の削減ができるのでないか。

「有効性(成果)」・・・成果が出ているか、成果を向上させる余地があるか。

【評価の視点】

*事業の実施により、期待される効果が出ている。

*事業の成果を向上させる余地があり、期待される効果の改善取組を行った。

※有効性(成果)の評価について

- 概ね目標値に届いているものについては○としました。
- 目標値と明らかに乖離しているもの、目標値の達成が明らかに困難と判断できるもの、数値化していない場合でも基本シートの事業内容、成果目標が達成されていないと判断できるものは△としましたが、目標数値等、社会情勢の変化等により、適切と判断できるものは○としました。

(iv) 方向性(ABCD)については、ルールどおり、○◎ならばA、△が1つでもあればBCDとしています。(事後評価シートを参照)

なお、○は適切なもの、◎は適切であるが、今後より効果的に改善する(した)もの、△は課題等があり、今後改善が必要なもの。

(v) 指標に係る重点事務事業

*印が付いている事業は、施策評価シートの「2.指標」の各指標の項目に対する重点事務事業と該当するものです。

4.施策評価について

施策評価は、第5次長期総合計画に記載されている施策の基本方針に照らし合わせ、どれだけ達成ができたかを施策の評価とするとともに、今後の方向性を示しています。